

安全で安心できる 安平町に

日没時間が早くなつたと感じる季節を迎えました。車を運転中に、目の前の人影に気づき「はっ」と驚いた経験はありませんか。交通事故は一瞬の気の緩みから起こることが多いといわれます。車を運転する方は細心の注意を払いながらハンドルを握るようにしましょう。

北海道の交通事故の現状

都道府県別の交通事故死者数で北海道は毎年全国ワーストワンでしたが、平成17年から不名誉な順位を返上。平成17年は第4位で、昨年は第3位でした。（下表参照）

統計によると平成12年から交通事故死者数は減少し、平成18年から年間300人以下になっていきます。また平成20年の死者228人は昭和26年以降最も少なく、死者が220人台になったのは昭和25年以来58年ぶりのことです。



スピードダウンの運転を

北海道を走るドライバーはスピードを出す傾向にあると言われていますが、その原因として次のことが指摘されています。

- ①北海道は都市間距離が長く運転時間が長い。
- ②直線道路が多い。
- ③渋滞が少ない。
- ④道幅が広い。

車の衝突時の衝撃は速さの2乗に比例するといわれ、時速80kmで固定された壁に衝突した場合、8階建てビル（高さ25m）から落下したのと同じ程度の衝撃を受けます。

スピードの出し過ぎは、無理な追い越しやハンドル操作の誤りが事故につながり、衝撃の大きさから死者が出る重大な事故につながる確率が高くなります。

スピードダウンを心がけ、法定速度で走行することが安全運転の基本です。



都道府県別交通事故死者数

順位 年別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
11年	北海道 (536人)	千葉県 (422人)	埼玉県 (410人)	東京都 (398人)	愛知県 (375人)
12年	北海道 (548人)	愛知県 (443人)	千葉県 (416人)	東京都 (413人)	埼玉県 (389人)
13年	北海道 (516人)	愛知県 (403人)	千葉県 (390人)	埼玉県 (378人)	東京都 (359人)
14年	北海道 (493人)	愛知県 (398人)	千葉県 (379人)	東京・神奈川 (376人)	
15年	北海道 (391人)	埼玉県 (369人)	愛知県 (362人)	千葉県 (358人)	東京都 (320人)
16年	北海道 (387人)	愛知県 (368人)	千葉県 (332人)	大阪府 (313人)	埼玉県 (305人)
17年	愛知県 (351人)	埼玉県 (322人)	千葉県 (305人)	北海道 (302人)	東京都 (289人)
18年	愛知県 (338人)	北海道 (277人)	千葉県 (266人)	埼玉県 (265人)	東京都 (263人)
19年	愛知県 (288人)	北海道 (286人)	東京都 (269人)	千葉県 (254人)	大阪府 (248人)
20年	愛知県 (276人)	埼玉県 (232人)	北海道 (228人)	東京都 (218人)	千葉県 (213人)

※平成11年以降の北海道の死者数の累計は3,964人です。

交差点での交通事故防止

交通事故死の半数以上は市街地での事故で、その半数が交差点やその周辺で発生しています。原因となるのは、安全不確認、一時不停止、信号無視などがあげられます。

交差点では、安全確認の徹底と、常に周囲に気を配れる安全な速度での走行を心がけ、一時停止標識のある場合は、必ず一時停止しましょう。

身近にできる事故防衛策

交差点以外の道路を高齢者が横断しているときは、個人差はありますが高齢者の身体機能が低下していることなどを考慮し、また、スクールゾーンでは子どもの急な飛び出しが予想されるため、ふだん以上に安全運転を心がけましょう。

身近にできる事故防衛策

夜光反射材
暗い夜道はドライバーには